

# 令和6年度 旭中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入したもの

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### 《基本目標》

人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、たくましく生きる力を培い、広く世界を見つめながら、進んで社会の発展に貢献できる人間を育成する。

### 《目指す生徒像》

- ・健康でやる気のある生徒（健康な体と気力）
- ・自ら学び創造力のある生徒（自主的な学習）
- ・心豊かで思いやりのある生徒（豊かな心）

### 《生徒の指標》

「世界の旭中学校 私がそれを代表する」

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

### 学校経営のテーマ「誰もが安心して学び、活力にあふれる学校」

旭中学校の歴史と伝統に誇りをもち、学校と家庭・地域が支え合い、校風の継承と新しい時代にあった本校らしい教育の実践を通して、志と自信をもって生きることができ、地域を愛する生徒を育成する。

- 1 心身ともに健康で学ぶ意欲のある人間を育成するため、「知・徳・体」の調和がとれた教育課程を編成するとともに、秩序があり安心・安全な教育活動の実施に努める。
- 2 教職員の情熱と自覚、職務への責任感、協調性を高めることにより信頼される学校づくりの推進に努めるとともに、職務環境の適正化を進め、勤務意欲の向上を図る。
- 3 学校と家庭・地域との連携・協力を深め、積極的な情報発信と相互交流を大切にし、学校マネジメントシステムに係るPDCAサイクルを生かして、地域とともにある学校づくりを展開する。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

### 本校のスローガン「心に太陽をもて！」

#### 1 確かな学力を身に付けさせるための学習指導の充実

- (1) 学力の基盤となる基本的な学習態度と学習規律を身に付けさせる指導を徹底する。
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成を両立する指導を展開する。
- (3) 主体的・対話的で深い学びや学習の達成感、課題解決を重視した授業展開の工夫・改善を図る。
- (4) ○総合的な学習の時間やキャリア教育を通して、自己の生き方を見つめる学習活動を充実する。
- (5) ○家庭における学習習慣の確立と適切な学習支援に努め、学習内容の定着を確実にする。

#### 2 豊かな人間性と社会性を育てる教育の推進

- (1) ○教職員と生徒の好ましい信頼関係を構築し、生徒のよさを認め励ます指導と共感的な人間関係を通して、一人一人の思いやりや協調性など豊かな人間性を育成する。
- (2) 自己存在感・有用感がもてる学年・学級経営を実践し、集団生活の向上に寄与する態度を育てる。
- (3) 道徳や特別活動、部活動等の充実を図り、自律的かつ自主的・自治的に学校生活に取り組む態度を育成する。
- (4) ○正しい判断力と協調性を育てる指導に努め、基本的生活習慣の確立や規範意識の向上、対人関係能力の育成を図る。
- (5) ○学校と家庭・地域との適切な連携・協力のもと、豊かな心や感性を培う体験的な活動を展開する。

#### 3 健やかな心身を育む教育の充実

- (1) 健康的な生活習慣を確立し、自ら進んで健康の増進に取り組む態度を育成する。
- (2) ○心身ともにたくましく、気力があり、何事にも粘り強く取り組む態度を育成する。
- (3) 栄養バランスのよい食生活により活力ある生活を送るため、家庭との連携を図った食育を推進する。

#### 4 新たな教育課題等への対応と働き方改革の推進

- (1) ○特別支援教育への理解と共通実践を推進し、インクルーシブ教育への適切な対応を行う。
- (2) 不登校の未然防止と個々の状況を踏まえた対応の充実を図るため、組織的な指導支援と家庭及び関係機関等との連携・協力を推進する。
- (3) ○小中学校教職員の相互理解と連携・協力を深め、小中一貫教育・地域学校園の取組の充実を図り、旭地域学校園教育ビジョン「地域に愛される旭っ子の育成」の具現化を目指す。
- (4) 校内美化・緑化やよりよい掲示環境、ICT機器の活用、学校図書館の充実などを通して、心豊かで主体的な態度を育む教育環境の充実に努める。

- (5) 学習指導要領改訂やGIGAスクール構想の趣旨を踏まえ、各教科等の授業研究を深め、指導力の向上に努める。  
 (6) 会議の精選、効率化等を通して校内業務の適正化を図るとともに、時間を意識した働き方を推進する。

【旭地域学校園教育ビジョン】

「地域に愛される旭っ子の育成」 ～地域との豊かなかかわりを通して～

地域社会の一員としての役割や責任を自覚し、家族や友人、地域の人々への感謝の気持ちをもち、思いやりをもって接するとともに、元気にあいさつし、ルールやマナーを守るなどの社会性と基礎学力を身に付け、進んで身の回りの人々や地域のために奉仕的に行動できるこどもの育成を図る。

4 教育課程編成の方針

- ・「知・徳・体」の調和がとれた教育課程の編成
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業の実施
- ・育成すべき三つの資質能力（①実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能 ②未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等 ③学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力等）を明確にした教育活動の展開
- ・各種教育と各教科等の内容を相互に関連付けた計画作成による教科横断的な教育活動の展開

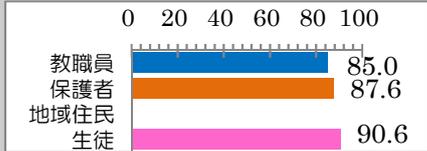
5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

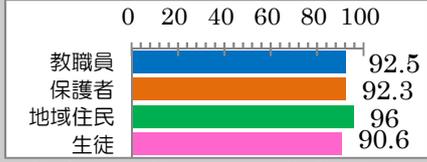
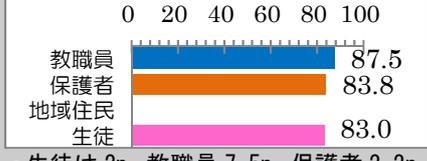
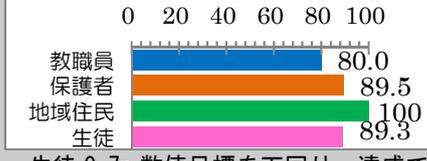
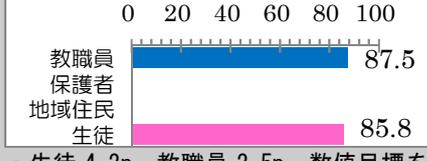
- (1) 学校運営  
 ○地域との連携推進による学校教育の充実と働き方改革の推進
- (2) 学習指導  
 生徒の可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現  
 －基礎・基本の定着と学習習慣の確立－
- (3) 児童生徒指導  
 生徒一人一人に寄り添う指導を通じた基本的生活習慣の定着と人として大切な心の育成
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）  
 よりよい生活習慣の確立と主体的に運動に取り組む態度の育成による健康・体力の向上

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

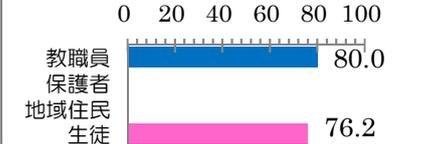
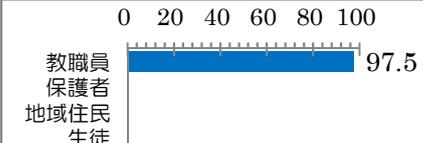
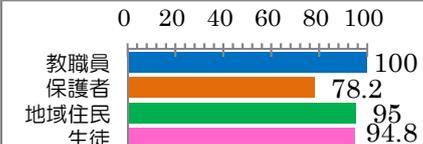
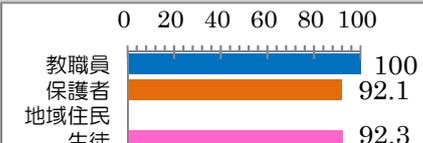
※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

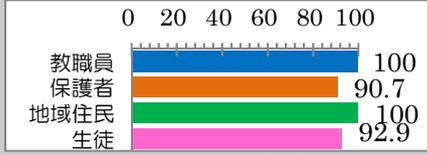
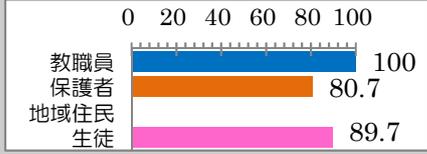
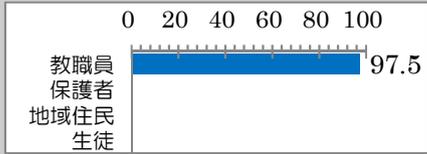
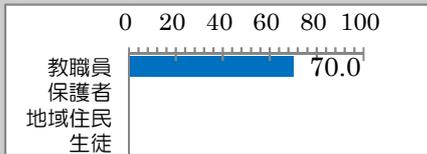
※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印は該当箇所の下線を付ける。

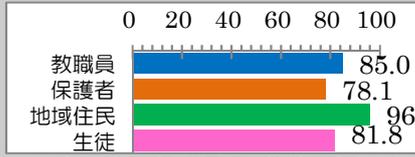
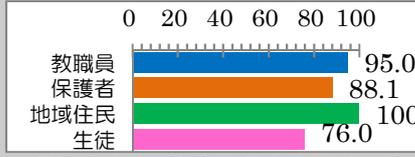
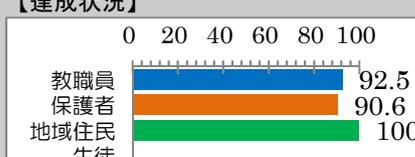
第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 85%</p>	<p>① 授業においてタブレット型パソコンを活用した情報の収集や他者との情報交換を通して自分の考えを深め、自らの課題を設定する力を育む。</p> <p>② 設定した学習課題の解決に向けて、学びを深める態度を育成する。</p>	B	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒は 5.6p 数値目標を上回り、達成できた。市の平均よりも 1p 高かった。      ・自ら設定した課題解決に向けたタブレットの活用や他者との情報交換を行う姿が常態として見られる。</p> <p>【次年度の方針】      ・課題を設定する方法や工夫について深化させ、自ら課題を設定し解決付ける能力を高める。</p>

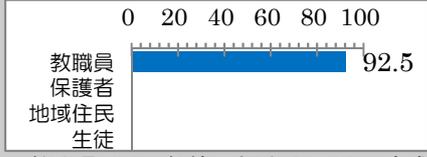
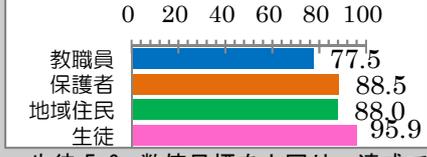
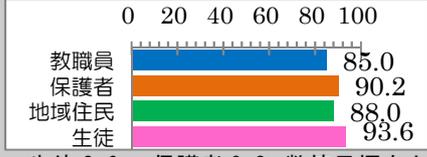
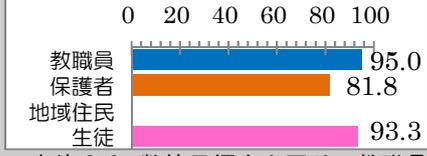
<p>1- (2) 豊かな心を育む教育の推進</p>	<p>A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 85%</p>	<p>① 授業や学校行事を通して多様な価値観を学び、学校、学級の一員としての自覚を高め、自分の役割を果たす実践力を高める。</p> <p>② 道徳の授業を通し、いじめ問題について考え、いじめをなくす取り組みを自分ごととして考えさせる。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 5. 6p, 教職員 7. 5p 数値目標を上回り、達成できた。市の平均よりも生徒 1. 1p 低く、教職員 0. 5p 高かった、</p> <p>・学校行事に積極的に取り組む生徒が多く、学校や学級への帰属感と自己有用感が高い生徒も多い</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・学校行事等を通してリーダーの育成を図るとともに、学級活動、道徳において他者への共感的理解や自己有用感を深める授業設定を意図的に行う。</p>
<p>1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 95% 保護者肯定的回答 85%</p>	<p>① 定期テスト毎に学習計画と反省を書かせ、自分の目標と到達度を視覚化することを通して、粘り強く取り組む態度を育てる。</p> <p>② 生徒が前向きな目標を立てられるように、適切な進路指導や丁寧な教育相談を行うとともに、生徒の努力を認め、励ます。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒は 2p, 教職員 7. 5p, 保護者 2. 2p, それぞれ数値目標を下回った。また、市の平均よりも生徒 1. 3p, 教職員 0. 1p, 低かった、</p> <p>・①②の取組を十分満足できる程度に実施したと教職員は考えている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒の実態に応じて、粘り強く取り組める支援、自己指導能力の育成を計画し実施していく。</p>
<p>1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90%</p>	<p>① 定期健康診断を実施し、結果を通知することで、自身の健康に関心をもたせる。</p> <p>② 避難訓練を実施し、自らの命を守り抜くための行動力を身に付けさせる。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 0. 7p 数値目標を下回り、達成できなかった。市平均より生徒 0p 低かった。</p> <p>・定期健康診断、避難訓練をとおして、健康で安全な生活について意識している様子うかがえるが、生活のリズムなどの課題もうかがえる。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒の実態に応じて健康課題解決のための計画を立て健康診断や事後措置及び避難訓練を実施していく。</p>
<p>1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① キャリア教育アンケートやキャリア・パスポートを活用して自己の基礎的・汎用的能力のうち、伸ばしたい力やそのための課題を明確にして、自身の成長を確認できるようにする。</p> <p>② 道徳、学級活動、総合的な学習の時間の中で、自己や自分の将来について深く考えることを通して、夢や目標を見つけ、その実現に向けて努力する力を身に付けさせる。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 4. 2p, 教職員 2. 5p, 数値目標を下回った。また、市平均より生徒 2. 5p, 教職員 2. 6p, 低かった。</p> <p>・キャリア教育をとおして生徒自身の課題や、成長を意識する姿うかがえたが、更なる工夫をしていく。1年生では、</p>

			<p>「職業人に学ぶ」を行わず、2月に進路指導主事からの講話を実施した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>1学年の「職業人に学ぶ」の行事の再開または代替の手段の検討、夢講座の企画を推進していき、生徒が自分の将来について深く考えられるように実施していく。</p>								
2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	<p>A 6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒肯定的回答 80%</p>	<p>① タブレットを活用し、伝えたい事柄について情報を収集したり、表現を調べたりし、それらを他者とのやり取りや発表に生かす態度を養う。</p> <p>② 関心のある事柄や日常的・社会的な話題について、やり取りさせたり、発表させたり、書かせたりする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>92.5</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>76.2</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>76.2</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>76.2</td></tr> </table> <p>・生徒 3.8p 数値目標を下回った。市平均より 2.0p 高かった。</p> <p>・英語の授業の中では、活発に英語でコミュニケーションをとっているが日常の活動に生かしていない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・一人一台端末の活用の工夫や授業ではスモールトーク等を行い、社会的な話題について日常英語でのコミュニケーションを図る場を設定する。</p>	教職員	92.5	保護者	76.2	地域住民	76.2	生徒	76.2
教職員	92.5										
保護者	76.2										
地域住民	76.2										
生徒	76.2										
	<p>A 7 児童生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒肯定的回答 85%</p>	<p>① 地域ボランティアへの参加や総合的な学習の時間(宇都宮学)の活動等から宇都宮の良さを多く体験できるように工夫する。</p> <p>② 地域で体験したことや地域について学習したことを発信できるように工夫する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>92.5</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>76.6</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>81.1</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>81.1</td></tr> </table> <p>・生徒 3.9p 数値目標を下回った。また、市平均より 3.4p 低かった。</p> <p>・地域での社会体験学習や宇都宮学で地域を調査する学習が十分にできた。また、その成果を他学年に発表する場を設けることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・地域ボランティアへの参加や宇都宮学の活動等から宇都宮の良さを多く体験できる工夫を継続し、体験したことを発信する場を作っていく。</p>	教職員	92.5	保護者	76.6	地域住民	81.1	生徒	81.1
教職員	92.5										
保護者	76.6										
地域住民	81.1										
生徒	81.1										
2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	<p>A 8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒肯定的回答 90%</p>	<p>① 生徒用タブレット型ノートPC等を積極的に用いて調べ学習を行い、課題をまとめ、発表することで理解を深める。</p> <p>② 年鑑や統計・専門など、様々な図書を利用した調べ方を理解し、目的に応じた適切な参考図書を選び、有効に活用させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>97.5</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>80.2</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>81.1</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>81.1</td></tr> </table> <p>・生徒 8.9p 数値目標を下回った。市平均より 7.2p 高かった。</p> <p>・調べ学習やその発表、自主的な学習、生徒会の活動等にデジタル機器を活用する生徒が多い。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・タブレットによる検索と紙等の資料のそれぞれの特性を指導するとともに活用を工夫させる。資料センターとしての図書室の活用を図る。</p>	教職員	97.5	保護者	80.2	地域住民	81.1	生徒	81.1
教職員	97.5										
保護者	80.2										
地域住民	81.1										
生徒	81.1										
2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	<p>A 9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p>	<p>① 各教科の学習や総合的な学習の時間の中で、「持続可能な社会」について学ぶ機会を活用し、自己を取り巻く環境について考えることで、</p>	<p>【達成状況】</p>								

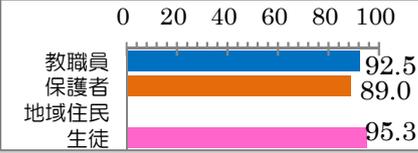
	<p>【数値指標】 生徒肯定的回答 80%</p>	<p>「持続可能な社会」に対する理解を深める。 ② 地域のボランティア活動の機会を増やししながら、校内でもごみの分別等を推進し、環境を大切にすることを養う。</p>	 <p>・生徒 3.8p 数値目標を下回った。また、市平均より 0.5p 低かった。 ・ボランティア活動の再開、授業での保育園訪問実施など「持続可能な社会」について生徒が意識する機会がとて増えた。 【次年度の方針】 ・ボランティア活動と「持続可能な社会」の関連を意識づける声かけを行う。総合的な学習の時間の授業等で更に「持続可能な社会」について考える機会を増やしていく。</p>
<p>3-(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。  【数値指標】 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 教育相談部会、特別支援部会、特別支援教育校内支援委員会において情報交換をしっかりと行くと共に、報・連・相を確実にしながら素早く対応する。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・教職員 7.5p 数値目標を上回り、達成できた。市平均と同じだった。 ・情報交換を定期的に行い、連携を図りながら適切に支援できた。 【次年度の方針】 ・部会以外でも学年・教科担任・その他の教職員との情報交換をこまめにし、継続して支援を行う。</p>
<p>3-(2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。  【数値指標】 生徒肯定的回答 95% 教職員肯定的回答 100% 保護者肯定的回答 90%</p>	<p>① 道徳や学活を軸にし、心の教育を重視し、いじめの未然防止の取り組みの充実を図るとともに、HP や各種便り、学級懇談を通して、取り組みを保護者や地域社会に積極的に発信する。 ② 教育相談の内容や QU の結果などを十分に活用し、いじめの早期発見・早期対応、未然防止を行うとともに、保護者や生徒との信頼関係を築いていけるよう、適切な対応を心掛ける。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 0.2p、保護者 11.8p 数値目標を下回った。教職員は数値目標を達成できた。また、市平均より生徒 0.7・教職員 0.9p 上回り、保護者 0.2 低かった。 ・①②の取組を十分満足できる程度に実施したと教職員は考えている。取組内容が適切に反映されている。 【次年度の方針】 ・保護者の肯定的回答値は 85% を目標に設定する。学年懇談や学級懇談会、各種便り等で学校での取り組みを詳細に積極的に発信していく。</p>
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。  【数値指標】 保護者肯定的回答 80% 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 教育相談や三者面談等を有効に活用しながら、家庭との連携を密にとり、問題があれば早期対応、早期解決を目指す。 ② 心配な生徒に教職員がチームで対応することで、学校とのつながりを維持し、不登校を生まない環境作りを推進する。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・保護者 12.1p、教職員 10p、それぞれ数値目標上回り、達成できた。市平均より保護者 4.2p、教職員 2.1p 高かった。 ・情報交換をしながら、チームで対応することができた。レインボー教室の環境が整い、1日中開設できた。 【次年度の方針】 ・情報の共有を図り、学級経営に活かしていく。</p>

<p>3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p> <p>3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 95% 保護者肯定的回答 95%</p>	<p>① 様々な立場の教職員が連携をとりながら、生徒ひとりひとりの実態に即した指導・支援計画を立て実践する。</p> <p>② 学校行事や学級活動、生徒会活動において、生徒が主体的に活動に取り組むことができる機会を充実させ、認め励まし、生徒の自己有用感を育てる。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 2.9p, 教職員 5p 数値目標を上回り、達成できたが、保護者は 4.3p 数値目標を下回り、達成できなかった。また、市平均より生徒 2.3p 低かった。</p> <p>・①②の取組を十分満足できる程度に実施したと教職員は考えている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・数値目標の再設定と、生徒が大切にされ、活気がある雰囲気の向上を目指した取組及び生徒・保護者に対して、目的や成果の周知等を充実させる必要がある。</p>
<p>4-(1) 教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 85%</p>	<p>① 学習課題の提示、習得・活用・探求の時間を確保し、生徒による振り返りと教師によるまとめを明確にした授業を展開する。</p> <p>② 知識・技能を活用して考えさせたり、自分の考えを表現させたりして、思考力・判断力・表現力等を育成する。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 4.7p 数値目標を上回り、達成できた。市平均より教師 2.3p 高かった。教職員は 100p で目標を達成した。</p> <p>・目標に対する評価規準、基準の達成度をみる評価基準の設定の深化を図る。</p> <p>・振り返りの記述の評価基準を明確にする。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・何を学び何に活かせるのかという観点を重視して振り返りを行い、自分のことばで表現する取り組みを行う。さらに教職員は、記述による内容の評価方法等についての研鑽を深める。</p>
<p>4-(2) チーム力の向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 学校経営のテーマや、スローガンを学年フロアへ掲示したり、印刷物の中に記載したりすることで、全職員がより意識を高めて、業務を進められるようにする。</p> <p>② 行事の計画を早くから検討し、共通理解を図り、全職員で同じ方向性で進められるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・教職員 7.5p 数値目標を上回り、達成できた。市平均より教職員 5.5p 高かった。</p> <p>・大部分の職員がスローガンを意識して業務に取り組んだ。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・スローガンを日常的に目にする場所に掲示するなど、より全職員がスローガンを意識しながら教育活動を実践していけるようにする。</p> <p>・行事の計画等を早くから検討し、共通理解と精選を図り全職員で同じ方向性で進められるようにする。</p>
<p>4-(3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 80%</p>	<p>① チーム学校として、SC、SSW、かがやきルーム指導員等と連携、協力して役割分担を図り、効果的な手立てを講じる。</p> <p>② リフレッシュデーを活用し、勤務時間内に業務を終わらせるよう効率的に行う意識を高める。</p> <p>③ タブレットやパソコンを利用した情報共有や生徒への問題提示等、</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・教職員 10p 数値目標を下回り、達成できなかった。市平均より教職員 9.1p 低かった。</p>

		紙印刷の手間を省くことで教員の業務縮減を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日の設定や教育相談・三者懇談後に情報の入力と情報共有ができるよう日課を設定し、有効に活用できた。</li> <li>【次年度の方針】</li> <li>・定時退勤日を設定し、勤務時間内に業務を効率的に行うようひとりひとりの意識を高める。</li> <li>・本年度同様、更なる業務の精選で効率化を進める。</li> </ul>
5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒肯定的回答 80%</p> <p>教職員肯定的回答 80%</p>	<p>① 地域学校園あいさつ運動の充実や行事等における小中の連携、中学生によるボランティア活動の充実を図る。</p> <p>② 各学校の課題を明らかにし、オンライン会議を活用して地域学校園各部会の取組を充実させる(学力向上部会・特色ある学校づくり推進部会・連携部会・学校園事務室)</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 1.8p, 教職員 5p 数値目標を上回り、達成できた。市平均より生徒 0.7p, 教職員 4.3p 低かった。</p> <p>・小中連携してのボランティア活動やあいさつ運動は充実した取組になった。</p> <p>・オンライン会議で効率的に連携を図ることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・行事等における小中の連携したボランティア活動を充実させる。</p> <p>・オンライン会議や対面とオンラインを併用したハイブリット会議など、効率的に行うことを継続する。</p>
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>保護者肯定的回答 80%</p>	<p>① 保護者会、三者懇談、各種たより等を活用し、保護者との連携を図る。</p> <p>② 社会人の方からの講演やボランティア活動を通してより良い生徒の育成を行う。PTA との連携を深め、学校運営の充実を図る。</p> <p>③ 社会体験学習や宇都宮学の学習等において地域の方々や企業との連携を図る。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・保護者 8.1p 数値目標を上回り、達成できた。市平均より保護者 7.1p 高かった。</p> <p>・保護者会やオープンスクールなどで、制限なしで授業を公開することができた。</p> <p>・とちぎ未来大使の講演会を保護者にも参加を呼びかけて実施することができた。</p> <p>・社会体験学習は、地域の企業等の協力により、充実した活動ができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・保護者や地域との連携を更に高めていくような取組を継続して実施する。</p> <p>・社会体験学習や宇都宮学の学習等において地域の方々や企業との連携を充実させる。</p>
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>保護者肯定的回答 85%</p> <p>地域住民肯定的回答 85%</p> <p>教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 毎月1回、校舎内、運動場等校地の安全点検を計画的、組織的に実施する。</p> <p>② 学校行事の前後や災害時発生時等、必要がある時は、臨時に安全点検を実施する。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・保護者 5.6p, 地域住民 15p, 教職員 2.5p それぞれ数値目標を上回り、達成できた。市平均より保護者 0.7p, 地域住民 3.7p 高く、教職員 2.2p 低かった。</p> <p>・安全点検を適切に行い、環境づくりに努めた。</p>

<p>6- (2) 学校のデジタル推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 生徒・教職員がいつでもデジタル機器を利用できるよう、貸出環境を整える。 ② 具体的な使用例を共有して、効果的な授業実践ができるようにする。</p>	<p>【次年度の方針】 ・日常的に問題意識をもって安全に配慮する。</p> <p>【達成状況】</p>  <p>・教職員 2.5p 数値目標を上回り、達成できた。市平均より 7.5p 高かった。 ・常時、生徒・教職員がデジタル機器を利用できる環境が整っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・授業等での使用法・使用例を共有できるよう、実践例を収集しデータベース化を図る。</p>
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B 1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 90% 地域住民肯定的回答 95%</p>	<p>① あいさつ運動を継続し運動部とも連携して行う。あいさつの意義を生徒に伝えることを通して、校内で会う友人、先輩後輩、先生、来校者など、相手に応じたあいさつができるようにする。 ② 授業や給食は部活を通して、所作を含め指導し、あいさつの習慣化を図る。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 5.9p 数値目標を上回り、達成できた。しかし、教職員 12.5p、地域住民 7p それぞれ数値目標を下回り、達成できなかった。また、市平均より生徒 0.9p、教職員 9p、地域住民 7p 低かった。 ・日常のあいさつが非常に活発になっているが、時と場に応じたあいさつになっていない場合がある。</p> <p>【次年度の方針】 ・授業・給食など学校生活全般で時と場に応じたあいさつができるように活動を継続していく。</p>
	<p>B 2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 90%</p>	<p>① 教職員が生徒の模範となるようきまりやマナーを守ることを率先垂範することにより、教育活動全般においてきまりを守る姿勢を育てる。 ② 交通安全教室等の取組や、生徒同士で指摘し合えるよう指導していくことで、命の重さ、ルール・マナーを守ることの重要性を認識させたうえで行動する態度を育成する。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 3.6p、保護者 0.2p 数値目標を上回り、達成できた。しかし、教職員は 5p 数値目標を下回り、達成できなかった。また、市平均より保護者 1.4p 高く、生徒 2.2p、教職員 2.9p 低かった。 ・教職員が率先垂範したことで、きまりを守る姿勢が昨年以上に見られた。</p> <p>【次年度の方針】 ・アンケートや振り返りも活用しながら、日常的に規範意識を高められるような指導をしていく。</p>
	<p>B 3 教職員は、生徒が自主的な学習を進めることができるように、学習の進め方を指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 95%</p>	<p>① 自主学習の仕方や定期テストに向けた具体的な対策を、各教科の授業や学年集会等で説明し、学習の手引きを活用して効果的な学習の仕方を指導する。 ② 火曜日と木曜日の朝の読書の 10 分間にタブレット型 PC を活用した学習活動を取り入れ、家庭での活用を見据えて生徒が自主的に取り組めるよう、学習の進め方を指導する。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 3.3p 数値目標を上回り、教職員も 100p で、達成できた。市平均より、生徒 2.5p 低く、教職員 7.1p 高かった。</p>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒は自主学習ノート、AIドリルに取り組んでいるが、個人差も大きくみられた。</li> <li>【次年度の方針】</li> <li>自主学習ノート、朝の学習時間の確保を継続し、体系的に課題を与えることを通して、自主的な学習の進め方を指導するとともに保護者にも協力をお願いしていく。</li> </ul>								
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B4 教職員は、生徒同士が互いに認め合える環境作りをしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 85%</p>	<p>① 行事等の振り返りワークシートの中に他の生徒の取組を認める項目を設ける等の工夫をするとともに、各種便り、HP等で学校の取組を保護者に積極的に発信していく。</p> <p>② 道徳の授業をはじめとする学習活動の中にグループ活動を取り入れるなど互いの意見を交わす場を設定し、タブレットのアプリ等も活用することで他者の考えに触れさせ、その考えを共有し、尊重し合える場を設定する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>97.5</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>85.4</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>90.3</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>90.3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒 3.2p, 保護者 0.4p 数値目標を上回り、達成できた。</li> <li>各種便り、HP等で学校の取組を保護者に積極的に発信できた。</li> <li>学期の初め等にエンカウンターを取り入れるなど、認め合える場を積極的に設定し、認め合うことができた。</li> <li>インクルーシブの授業を全クラス行い、理解を深めることができた。</li> <li>【次年度の方針】</li> <li>エンカウンターを計画的に位置付けるとともに、各種便り、HP等で学校の取組を保護者に積極的に発信していく。</li> <li>インクルーシブ教育を継続していく。</li> </ul>	教職員	97.5	保護者	85.4	地域住民	90.3	生徒	90.3
教職員	97.5										
保護者	85.4										
地域住民	90.3										
生徒	90.3										
	<p>B5 学校や地域は、生徒が自主的に地域の行事に参加し、活動することを支援している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 地域住民肯定的回答 90%</p>	<p>① 年間を通して地域の行事に自主的に参加する機会を設定し、地域と共に支援することで、地域貢献の意識を高める。</p> <p>② 地域行事への参加の様子を収めた写真などを、学校HPに掲載したりすることで、生徒の達成感を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>100</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>84.3</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>95.8</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>88.6</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒 1.4p 数値目標を下回り、達成できなかった。地域住民は 5.8 数値目標を上回り、達成できた。</li> <li>昨年度よりも地域でのボランティア活動の機会が増えた。</li> <li>【次年度の方針】</li> <li>生徒の安全を考慮しながら、地域の行事やボランティア活動を積極的に紹介し、参加を促していく。</li> <li>活動の様子を積極的に発信していく。</li> </ul>	教職員	100	保護者	84.3	地域住民	95.8	生徒	88.6
教職員	100										
保護者	84.3										
地域住民	95.8										
生徒	88.6										
	<p>B6 学校や地域は、定期的に登校指導や下校指導を行い、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図り、「地域に愛される旭っ子」の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 85% 地域住民肯定的回答 90%</p>	<p>① 保護者・教職員・生徒・地域が一体となって行う PTSC あいさつ運動を計画的に行い、教職員で連携を取りながら下校指導を行う。</p> <p>② 水曜日の一斉下校の際には、交通担当教員を中心に、巡回下校指導に当たり、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図る。一斉下校の際には、週ごとに学年の教諭が校門近くに立哨し下校時のマナーの啓蒙活動を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>97.5</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>85.1</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>96.0</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>90.3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒肯 5.3p, 教職員 7.5p, 保護者 0.1p, 地域住 6p, それぞれ数値目標を上回り、達成できた。</li> <li>取組により、自発的なあいさつの浸透、交通マナーの意識向上をはかることができた。</li> <li>【次年度の方針】</li> <li>数値目標を全ての項目で達成できている。次年度も現在の方針を継続するが、生徒の登下校マナーについて年度当初に全体で共通で理解する取り組みを行う。</li> </ul>	教職員	97.5	保護者	85.1	地域住民	96.0	生徒	90.3
教職員	97.5										
保護者	85.1										
地域住民	96.0										
生徒	90.3										

<p>B7 学校や家庭は、生徒が主体的によりよい生活習慣を確立し、心身ともにたくましく、規則正しい生活習慣を身につけられるよう支援している。</p> <p>【数値目標】          生徒肯定的回答 85%          保護者肯定的回答 85%          教職員肯定的回答 90%</p>	<p>①学校行事や専門委員会、各教科を通して、よりよい生活習慣を身につけさせるような活動を行う。          ②保健だより、食育だより、生徒指導だより、図書館だより、各種だよりを活用し、家庭や生徒への情報発信を行うとともに啓発を図る。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>・生徒 10.3p, 教職員 2.5p, 保護者 4p, それぞれ数値目標を上回り、達成できた。          ・生活の振り返りを継続的に実施している生徒の姿がうかがえた。</p> <p>【次年度の方針】          ・生活の振り返りについては、より効果的な取り組み方について検討する。          ・学校行事や専門委員会、各教科を通して、生活習慣を身につけさせる。その際に、各種たよりを活用する。その際に、各種たよりを活用する。</p>
---	--	--

### 【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所の下線を付ける。

生徒回答の R5 と R6 との増減の比較から、増減の似た項目をまとめ、考察する。

【高くなった及びほぼ同じだった項目】⇒ 生徒と教職員の良好な関係性

A13: 教職員は、生徒の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、生徒が明るくいきいきと学校生活を送れるようにしている。( +0.89p )

B1: 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。( +0.02p )

A1: 生徒は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、粘り強く学習に取り組んでいる。( -0.10p )

⇒ 昨年度より上がった及びほぼ同じであった項目については、本校生徒の良さが読み取れる。上記の3項目からは、生徒と教職員及び生徒同士の関係性の良さや、先生方の指導のもとで授業や学習に主体的に取り組んでいる様子がうかがえる。今後も、引き続き、教育相談等の機会を充実させ、生徒に寄り添った教育活動の充実を図っている必要がある。

【3p～4p下がった項目】⇒ 行事等への参加に関する厳しい自己評価

A2: 生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。( -3.98p )

B5: 学校や地域は、生徒が自主的に地域の行事に参加し、活動することを支援している。( -3.86p )

B6: 学校や地域は、定期的に登校指導や下校指導を行い、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図り、「地域に愛される旭っ子」の育成に取り組んでいる。( -3.73p )

A4: 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。( -3.67p )

A17: 学校は、児童生徒や教職員の交流、小中一貫教育カリキュラムの作成・見直しなど、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。( -3.21p )

A5: 生徒は、互いの良さを生かしながら、進んで意見を発表したり、協力したりして、集団での課題を解決している。( -3.00p )

⇒ ここにあげた A2 と A5 は「生徒は、」と記載されているが、実勢に生徒には「私は、・・・している」という聞き方になっており、中でも A2 や A5 が下がっている点については、「他者へのおもいやりの心」や「授業への積極参加」について自己評価が厳しくなっていることがわかる。今後、学年別の変化等を調べ、対応を工夫していく必要があると考えられる。また、その他の項目は校内及び校外を含めた「活動」に関する項目が多く、参加や貢献等の自分への評価が厳しくなっていることが考えられる。今後は、更に生徒一人一人が、様々な活動への参加を通して、達成感を味わうことができる機会の充実を図っていることが必要であると考えられる。

【大きく下がった（7p以上）項目】⇒ アンケート実施時期及び持続可能な社会への取組の充実

A18: 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。

A9: 生徒は、「持続可能な社会」について、関心を持っている。

⇒ A18については、宮っ子チャレンジ（2年生）の実施が、今年度は12月となり、アンケート実施後だったことが、下がった大きな原因になっていると考えられる。また、地域協議会によるトイレ清掃ボランティア等も1月からであった。

A9の「持続可能な社会」については、本校で実施しているSDG'sに関する取組を周知する方法をさらに工夫する。

### 【まとめ（全体考察）】

全体としては、「生徒と教職員の良好な関係性」や、生徒一人一人が「行事等への参加に関する厳しい自己評価」をしている状況、そして、「持続可能な社会への取組の充実等の課題」が挙げられる。

最後に、「A8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。」及び「A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。」が共に市平均より7.2pも高く、本校の強みであると言える。

## 7 学校関係者評価

- ・アンケートの結果の報告や考察で述べられていたように、全体として、生徒と教職員の良好な関係性がうかがえることがよく分かった。これも、先生方の日頃の取組のおかげだと思う。
- ・学校の取組（活動の趣旨等）を生徒（保護者も含め）がきちんと理解して評価しているかどうかについて疑問に感じる。活動前に説明したり、アンケートで質問されていることに関連付けられるよう解説したりすることが必要に思う。
- ・保護者にも同様に、ホームページ等を利用して、生徒の様子や活動の様子や趣旨等を積極的に発信してほしい。
- ・授業参観をとおして、「生徒参加型の授業が多く、生徒間で意見交換したり、教え合ったりしている姿にとっても好感をもった。その反面、自分勝手に発言（不規則発言）をしてしまう生徒が気になった。
- ・地域未来会議においては、未来会議に参加された生徒さんの態度が素晴らしかった。災害発生前に、我々大人がすべきことがたくさんあることに気づかされた。災害発生後、中学生はとても役に立つことを改めて理解できた。
- ・コロナ禍を経て、地域からの中学生へのボランティア募集がなくなっている行事・団体が多いことが分かった。地域でも話題にして、再検討していきたい。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所に下線を付ける。

- ・コロナ禍での制限がなくなって2年が過ぎた。体育祭などの学校行事や授業参観等、保護者や地域の方に生徒の活動の様子や活気のある学校の状況を見ていただくことができた。今後も感染対策を継続しつつ積極的に教育活動を公開し、地域と共に旭っ子の育成にまい進していきたい。
- ・「心に太陽をもて！」というスローガン（2年目）のもと、生徒も更に意識を深め学校行事や生徒会活動に意欲的に活動している様子が随所でうかがえる。しかし、地域の方のご意見のとおり、それらの様子がアンケートに反映されていない点が残念であり、課題であると考えられる。取組のすばらしさをしっかり生徒にフィードバックできるよう教職員が共通理解して工夫していくと共に、引き続き生徒の主体的な活動を推進し、生徒の活躍の場を創出できるよう努めていきたい。
- きまりやマナーを守ること（B2）については、引き続き教職員が率先垂範をし、学校全体で規範意識を高めるよう指導を継続し、生徒の意識の向上を図ることができた。引き続き、TPO に応じた対応ができるよう全職員で共通理解をし、同一歩調で指導を継続できるよう努めていきたい。
- ・本校の特色の一つであるボランティア活動の推進については、引き続き生徒へ積極的に参加を促すことができた。ボランティアに興味・関心の高い生徒も多く、年間複数回参加をしている生徒もいることから、地域との連携を深め活動が継続できるよう進めていきたい。
- ・ICT の活用（A8、A20）については、年毎に効果的な活動が実践され活用の幅も広がっており、アンケート結果からも市の平均を大きく上回り、本校の強みである。今後も、情報活用能力の向上を図りながら適切な活用方法について指導を継続していきたい。また、ICT 機器の活用と同時に図書の利用についても推進していきたい。
- ・課題の一つである学校の業務の効率化（A16）については、ICT を活用した業務への移行が更に進み、さくら連絡網を活用したペーパーレス化や施設設備の改善を進めるなど、職員全体に業務改善の意識の高揚が見られた。アンケート結果においては、市平均と比べると肯定的回答が低いことから、業務改善に向けたさらなる工夫・改善に取り組んでいきたい。
- 「B7:地域に愛される旭っ子」の育成に関する項目については、昨年度と同様に生徒・教職員共に高い値を示している。引き続き、家庭と地域とのつながりを大切にするとともに、小学校との連携を深めていきたい。